

検 定 意 見 書

受理番号 104-118		学校 小学校	教科 算数	種目 算数	学年 1
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準
	ページ	行			
1	上巻 6	図	下のじょうろの図	相互に矛盾している。 (7ページ右上のじょうろの図と異なる。)	3-(1)
2	下巻 32	吹き出し	1行下の先生の吹き出しの3行目「あたりが おおい はんが ちです。」	児童にとって理解し難い表現である。 (「あたりが おおい はん」が何を意味するのか分からない。)	3-(3)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 104-119		学校 小学校	教科 算数	種目 算数	学年 2
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検定基準
	ページ	行			
1	上巻 78	5 - 6	お手つだいをした時こく 他に、8行右のますりんの吹き出しの 「水やりをした時こく」	児童にとって理解し難い表現である。 (なぜ「時こく」なのか分からない。)	3-(3)
2	下巻 39	吹き出し	左下のはるとの吹き出しの「○あの5 のだんは」	児童にとって理解し難い表現である。 (なぜ○あが5の段とされるのか分からない。)	3-(3)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 104-120		学校 小学校		教科 算数	種目 算数	学年 3
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準	
	ページ	行				
1	上巻 18	図	左の「コンピューターで考えたことを」の下の図	誤りである。	3-(1)	
2	138	吹き出し	上のはるとの吹き出しの「われない」他に、6行下の表の下の「われない」	児童にとって理解し難い表現である。 (説明がなく分からない。)	3-(3)	
3	145	図	下の位の図	主たる記述と適切に関連付けて扱われていない。 (この教材をどこで使うのか示されていない。)	2-(13)	
4	148		かけ算の表 (全体)	主たる記述と適切に関連付けて扱われていない。 (この教材をどこで使うのか示されていない。)	2-(13)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 104-121		学校 小学校		教科 算数	種目 算数	学年 4
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準	
	ページ	行				
1	上巻 134	9 右	プログラミングを体験しよう	表記が不統一である。 (135ページ1行の表題)	3-(4)	
2	135	8 - 9	□3	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (「いろいろな整数」とはどのような条件なのか分からず、プログラムをつくることができないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)	
3	下巻 32	表	2行下の表の「平行四辺形」とその下の図形	児童にとって理解し難い表現である。 (関係が分からない。)	3-(3)	
4	55	9 - 14	⑥	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されておらず、また、発展的な学習内容であることが明示されていない。 (簡単な比例の関係の学習)	2-(17)	
5	82	7 - 11	ますりんつうしん 変わり方を表で調べてみると? はってん5年	学習指導要領に示す内容を発展的な学習内容として扱っている。 (内容C(1)のアの(ア)の「変化の様子を表～を用いて表したり、変化の特徴を読み取ったりすること。」)	2-(15)	
6	82	7 - 11	ますりんつうしん 変わり方を表で調べてみると? はってん5年	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されていない。 (左下の二次元コードが発展的な学習内容に含まれるのかどうか分からない。)	2-(17)	
7	116	グラフ	データ3の「かこに起こったさい害の発生けん数」	児童が誤解するおそれのある表現である。 (震度3以上の地震はすべて災害であるかのように誤解するおそれがある。)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 104-122		学校 小学校	教科 算数	種目 算数	学年 5
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準
	ページ	行			
1	下巻 122	グラフ	データ1	不正確である。 （「51～60」のスキの棒グラフ及び「6.6」）	3-(1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 104-123		学校 小学校	教科 算数	種目 算数	学年 6
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検定基準
	ページ	行			
1	29	図	上の図	児童にとって理解し難い図である。 (左右の図の関係が分からない。)	3-(3)
2	108	吹き出し	下のしほの吹き出し	児童が誤解するおそれのある表現である。 (常にヒストグラムの横軸は回数を表しているかのように誤解するおそれがある。)	3-(3)
3	144	写真	9行△3①の牛乳パックの写真	特定の商品の宣伝になるおそれがある。	2-(7)
4	189	グラフ	右上のデータ3の円グラフ	不正確である。 (「容器、ポリぶくろ」)	3-(1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 104-124		学校 小学校		教科 算数	種目 算数	学年 1
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準	
	ページ	行				
1	下巻 72	囲み	ノートの れい	児童にとって理解し難い表現である。 (なぜ「こたえ 13にん」と書かれているのか分からない。)	3-(3)	
2	75	吹き出し	右下のラビちゃんの吹き出し「11ページの ビンゴを やって みよう。」	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (2から10までの数字では答えの数に丸を付けることができずビンゴができないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)	
3	107	吹き出し	右下の吹き出し「きょうは 5 とびでいって みよう。」	児童にとって理解し難い表現である。 (どのように数えるのか分からない。)	3-(3)	
4	132	3	139ページの めいれいカード	児童にとって理解し難い表現である。 (139ページのどれが「めいれいカード」か分からない。)	3-(3)	
5	139	図	中央下のラビちゃんの駒	主たる記述と適切に関連付けて扱われていない。 (この切り取り教材を使うページに、この教材がこのページにあることが示されていない。)	2-(13)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 104-125		学校 小学校		教科 算数	種目 算数	学年 2
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準	
	ページ	行				
1	65	吹き出し	右下の吹き出しの「14cm2mm」	児童にとって理解し難い表現である。 (このあと、どのように考えようとしているのか分からない。)	3-(3)	
2	92	写真	右下の写真の「榛名酪農」	特定の営利企業の宣伝になるおそれがある。	2-(7)	
3	104	13	「何分」の振り仮名	不正確である。	3-(1)	
4	134	写真	右下の写真のキャプション「びわ湖テラス」	特定の営利企業の宣伝になるおそれがある。	2-(7)	
5	166	8	プログラム	児童にとって理解し難い表現である。 (説明がなく分からない。)	3-(3)	
6	166	図	10行下の図の「(緑の旗)がおされたとき」	児童にとって理解し難い表現である。 (緑の旗が何か分からない。)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 104-126		学校 小学校		教科 算数	種目 算数	学年 3
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準	
	ページ	行				
1	126	10 － 11	算数たまたばこ 考えてみよう 大きな数の筆算のしかたを考えよう はってん4年	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されていない。 (左下の二次元コード, 「・309×5の筆算の動画」, 「・かけ算の練習問題」が発展的な学習内容に含まれるのかどうか分からない。)	2-(17)	
2	144	写真	右下の写真の「300,000本」	児童にとって理解し難い表現である。 (3桁区切りの数の表示)	3-(3)	
3	144	写真	右下の写真の「あしかがフラワーパーク」	特定の営利企業の宣伝になるおそれがある。	2-(7)	
4	148	17 － 18	■1 他に, 19-20行■2	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (数字を重複して使ってよいのか分からず, 解答できないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)	
5	148	19 － 20	■2	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されておらず, また, 発展的な学習内容であることが明示されていない。 (4位数の減法を超える学習)	2-(17)	
6	171	表	上の写真の右の表の「70m」	児童にとって理解し難い予想である。 (「木のまわりの長さ」として)	3-(3)	
7	189	9 － 12	何mになるかな	発展的な学習内容であることが明示されていない。 (簡単な場合を超える分数の加法)	2-(17)	
8	218 － 219	3 － 7	■1	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (218ページ5行の下囲み内の左上のプログラムがどのように動くのかの説明がないため, プログラムを作ることができないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)	
9	218	4	プログラム 他に, 5, 9, 12行, ラビちゃんの吹き出し, 219ページ1, 2, 5, 6行, ラビちゃんの吹き出し2カ所	児童にとって理解し難い表現である。 (説明がなく分からない。)	3-(3)	
10	250	側注	2行右下の側注の「単位」 他に, 5行右下の側注	表記が不統一である。 (1ページの「たんげん」)	3-(4)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 104-127		学校 小学校		教科 算数	種目 算数	学年 4
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準	
	ページ	行				
1	53	図	上の図の右上の「一の位の数字よりわる数が小さい」	誤りである。	3-(1)	
2	53	1 － 3	さらに考えよう◆	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (53ページ1行上の図の説明がないため、解答できないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)	
3	53	9	プログラム 他に、162ページ4, 9, 10行、ラビちゃんの吹き出し、 163ページ2, 5, 6, 8, 10, 11行、ラビちゃんの吹き出し2カ所	児童にとって理解し難い表現である。 (説明がなく分からない。)	3-(3)	
4	66	13 － 14	■1 他に、15-16行■2	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (間の角がどちらのことか分からず、解答できないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)	
5	78	8	へいきんじゅみょう	児童にとって理解し難い表現である。 (説明がなく分からない。)	3-(3)	
6	78	13	はってん4年	不正確である。	3-(1)	
7	205	15	■1	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されておらず、また、発展的な学習内容であることが明示されていない。 (三角形の面積を計算により求める学習)	2-(17)	
8	247	12 － 15	くふうして大きさをくらべよう	発展的な学習内容であることが明示されていない。 (簡単な場合について、大きさの等しい分数があることを知ることを超える学習)	2-(17)	
9	250	写真	□いの写真の「LOTTE」、□かの写真の「AsahiKASEI」 他に、251ページの○きの写真の「AsahiKASEI」	特定の営利企業の宣伝になるおそれがある。	2-(7)	
10	267	1 － 4	□14	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (割り切れない場合の処理の仕方が示されておらず、解答できないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 104-128		学校 小学校		教科 算数	種目 算数	学年 5
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検定基準	
	ページ	行				
1	72	10 － 16	■1	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (どの範囲で考えればよいか分からず，解答できないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)	
2	95	9	プログラム 他に，212ページ3, 5, 6, 12行，213ページ1, 2, 4, 7行	児童にとって理解し難い表現である。 (説明がなく分からない。)	3-(3)	
3	189	グラフ	右下の○う「農業で働く人の数の変化」の折れ線グラフの「15～39さい」を表す折れ線 他に，190ページ右上の○うのグラフ	不正確である。 (188ページの表と不対応)	3-(1)	
4	194	グラフ	「学校の数の割合」の帯グラフの「合計 55488校」	不正確である。	3-(1)	
5	197	図	右上の図の「タイムセール さらに10%引き」	児童にとって理解し難い表現である。 (どの価格からなのか分からない。)	3-(3)	
6	199	4	正方形の紙の中心	児童にとって理解し難い表現である。 (中心とは何か分からない。)	3-(3)	
7	206	写真	右下の写真のキャプション「相模湖プレジャーフォレスト」	特定の営利企業の宣伝になるおそれがある。	2-(7)	
8	212	図	10行左下の図の「(緑の旗)が押されたとき」 他に，213ページ左上の図の「(緑の旗)が押されたとき」	児童にとって理解し難い表現である。 (緑の旗が何か分からない。)	3-(3)	
9	249	写真	中左の写真の「CRUNKY」	特定の商品の宣伝になるおそれがある。	2-(7)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 104-129		学校 小学校		教科 算数	種目 算数	学年 6
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準	
	ページ	行				
1	112	11 － 20	■1	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (2回目以降にどのようなにはね上がるのか分からず、 解答できないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)	
2	135	13 － 14	2人を班長と決めた	児童が誤解するおそれのある表現である。 (班長を2人決めたかのように誤解するおそれがある。 。)	3-(3)	
3	142	15 － 16	①	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されておらず、また、発展的な学習内容であることが明示されていない。 (複雑な場合の数を求める問題)	2-(17)	
4	175	10 － 14	■1	発展的な学習内容であることが明示されていない。 (相似比と面積比の学習)	2-(17)	
5	204	3 － 15	■1	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (ブロックの意味やプログラムの動作が分からず、 グラフをかいたりプログラムをつくったりすることができないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)	
6	204	3	プログラム 他に、6, 10, 12行、206ページラビちゃんの吹き出し内の2箇所	児童にとって理解し難い表現である。 (説明がなく分からない。)	3-(3)	
7	205	囲み	発見！	発展的な学習内容であることが明示されていない。 (比例定数の意味の学習)	2-(17)	
8	205	5	プログラミング	児童にとって理解し難い表現である。 (説明がなく分からない。)	3-(3)	
9	209	11	■3	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (概形をどのように捉えてよいか分からず、解答できないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)	
10	240	8 － 9 上	新型コロナウイルスのような感染症	不正確である。 (「新型コロナウイルス」は感染症名ではない。)	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 104-129		学校 小学校		教科 算数	種目 算数	学年 6
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準	
	ページ	行				
11	253	11	245ページで学習したてんびんの考え方を	児童にとって理解し難い表現である。 (245ページの内容は発展的な学習内容であるため、すべての児童が学習しているとは限らない。)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 104-130		学校 小学校		教科 算数	種目 算数	学年 1
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準	
	ページ	行				
1	上巻 26	吹き出し	下の吹き出し「? 7の わけかたはいくつ あるのかな?」ほか28ページ下の吹き出し「? 9はいくつの わけかたが あるのかな?」	児童にとって理解し難い問題である。 (「わけかた」がどのような分け方までを意味しているのか分からない。)	3-(3)	
2	99		「くだものしらべ かあど」(全体)	主たる記述と適切に関連付けて扱われていない。 (この切り取り教材を使うページに、この教材がこのページにあることが示されていない。)	2-(13)	
3	下巻 5	吹き出し	下の写真内の右の吹き出し「しんごうは まるいから、かんをつかったよ。」	児童にとって理解し難い吹き出しである。 (なぜ「かん」なのか分からない。)	3-(3)	
4	40	14 - 16	①	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (14行上のイラストで示されたものが何か分からないので、①に答えられないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)	
5	49	イラスト	1行下のイラストの「百」	組織が適切でない。 (「百」は、下巻51ページからの学習内容である。)	2-(12)	
6	99	イラスト	中左の「ソロエ」の囲み内の右のイラスト	児童にとって理解し難いイラストである。 (大きさをそろえると、なぜりんごの個数が減るのか分からない。)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 104-131		学校 小学校	教科 算数	種目 算数	学年 2
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準
	ページ	行			
1	上巻 7	囲み	中上の「名人ポイント②」	児童にとって理解し難い表現である。 (どのように「つかいやすくなる」のか分からない。)	3-(3)
2	59	10	②で もとめた しき	児童にとって理解し難い表現である。 (②の設問では必ずしも式を求めることが要求されていない。)	3-(3)
3	67	写真	4～7行右の写真	相互に矛盾している。 (68ページ以降の工作用紙のマスの設定と相互に矛盾している。)	3-(1)
4	75	11	△2③ ほか12行⑥	組織が適切でない。 (ここでの計算に必要な加法・減法は106ページからの学習内容)	2-(12)
5	93	吹き出し	右上のキマリンの吹き出しの「いくつとび」	児童にとって理解し難い表現である。 (「いくつとび」が何を意味しているのか分からない。)	3-(3)
6	98	表	15行下の表	一次関数の変化の値を表に表すことは、学習指導要領の内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容D (1) ア (ア) の「簡単な表～を用いて表したり読み取ったりすること。」)	2-(1)
7	154	14 - 16	□6	組織が適切でない。 (この問題は、76ページの学習後に取り組んでもよいことになっているが、「<」、「>」は95ページからの学習内容である。)	2-(12)
8	下巻 1	側注	6行右の側注の「直方体」，「立方体」	児童にとって理解し難い用語である。 (上の学年で学習する未習の用語)	3-(3)
9	23	イラスト	②，③のイラスト ほか下のタマゴのキャラクターの囲み 「5より 大きい 数の だんの 九九も，2つの かけ算を つかって 作ることが できるのかな。」，	分配法則の一般論を用いて乗法九九を構成することは、学習指導要領に示す内容の取扱いに照らして、扱いが不適切である。 (内容の取扱い (4) の「主に乗数が1ずつ増えるときの積の増え方や交換法則を取り扱う」)	2-(1)
			25ページ6～9行③，下右上の吹き出し 「2つの 九九を つかって，同じように 作れたよ。」，下の吹き出し 「？ 7のだんの 九九も，同じように 2つの 九九を つかって 作れ		

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 104-131		学校 小学校		教科 算数	種目 算数	学年 2
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準	
	ページ	行				
			るかな？」， 27ページ11～13行②，下の吹き出し「 ？ 8のだんの 九九も，2つの 作り 方で できるかな？」， 29ページ5～7行①，左下「まとめ」の			
			「九九を 2つ つかう 考え」， 31ページ5～7行①， 37ページ6行①，中左のさらの吹き出 し。			
10	58	15 － 19	① ほか59ページ7～8行①	単位量当たりの考え方を使うことは，学習指導要領 に示す内容に照らして，扱いが不適切である。 (内容C(1)イ)	2-(1)	
11	73	10 － 11	まとめ 1000が 10こ あつまると， これまでと 同じように 1つ 上の くらいの 数に なります。	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されておら ず，また，発展的な学習内容であることが明示され ていない。 (一万の位の学習)	2-(17)	
12	137		「かけ算ゲーム①」(ページ全体) ほか139～140ページ「かけ算ゲーム②」 (全体)	主たる記述と適切に関連付けて扱われていない。 (この教材をどこで使うのか示されていない。)	2-(13)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 104-132		学校 小学校		教科 算数	種目 算数	学年 3
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検定基準	
	ページ	行				
1	上巻 7	囲み	中上の「名人ポイント②」	児童にとって理解し難い表現である。 (どのように「使いやすくなる」のか分からない。)	3-(3)	
2	59	側注	1～4行左の側注「くり上がりのないたし算→」	児童にとって理解し難い表現である。 (同ページの内容とどう関係するのか分からない。)	3-(3)	
3	60	吹き出し	上のあかりの吹き出しの「大くなる」	誤りである。	3-(1)	
4	80	11 - 12	□2①	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (「その他」をどう扱うのかが示されていないので、 解答できないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)	
5	98	10 - 21	問題3	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (標識に書かれている内容がどのようなことを意味しているのか説明がないので、問題に答えられないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)	
6	99	4	km, m, cm, mmなど、それぞれのたんいを1つ分と考えると ほか下巻116ページ4行「mg, g, kg, t など、それぞれのたんいを1つ分と考えると」	児童にとって理解し難い表現である。 (単位自体は量を表してはいないので、どのように「1つ分」と考えるのか分からない。)	3-(3)	
7	127	吹き出し	中右のゆうの吹き出しの「あまりがわられる数より小さくなるときをさがしました。」	誤りである。	3-(1)	
8	147	15 左	「7 円と球」の□4の解答	誤りである。	3-(1)	
9	下巻 24	16 - 17	△1②	不正確である。	3-(1)	
10	44	図	右上の□2②の「ます」の図	児童にとって理解し難い図である。 (なぜ3dLが3つ記載されているのか分からない。)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 104-132		学校 小学校		教科 算数	種目 算数	学年 3
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準	
	ページ	行				
11	54	吹き出し	右下のタマゴのキャラクターの吹き出し「166ページの三角形を切ってはろう。」ほか55ページ上のタマゴのキャラクターの吹き出し	児童が自ら活動を行えるよう適切な配慮がされていない。 (166ページのどの三角形を切り取って貼るのか分からない。)	2-(14)	
12	94	7 - 8	□3③の「○アのテープの色をぬったところが、○イのテープの色をぬったところより長い」	誤りである。	3-(1)	
13	139	1	△3	児童にとって理解し難い問題番号である。 (138ページにも「△3」がある。)	3-(3)	
14	139	側注	右上の側注の「□14」	表記が不統一である。 (章番号の色)	3-(4)	
15	146	グラフ	「1人が1日に出すゴミのりょう」のグラフの3桁区切り表示	児童にとって理解し難い表現である。 (未習の表記方法)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 104-133		学校 小学校		教科 算数	種目 算数	学年 4
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検定基準	
	ページ	行				
1	上巻 7	囲み	左上の「名人ポイント①」	児童にとって理解し難い表現である。 (どのように「使いやすくなる」のか分からない。)	3-(3)	
2	12	図	右上の日本の図	児童が誤解するおそれのある図である。 (北海道)	3-(3)	
3	14	図	下の世界の図	児童が誤解するおそれのある図である。 (塗色の仕方)	3-(3)	
4	49	吹き出し	中右のタマゴのキャラクターの吹き出し「162ページの円を使って調べよう。」	誤りである。 (162ページに円はない。)	3-(1)	
5	90	12	△2② 80÷30	組織が適切でない。 (同ページ□2と同じ計算である。)	2-(12)	
6	99	8 - 12	なるほど算数 いろいろな国のわり算 発てん	発展的な学習内容には該当しない。	2-(15)	
7	114	4 - 6	□1① ほか118ページ11行②	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (与えられた角の大きさは整数値にはならないので、分度器で角度を測って確定することができないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)	
8	138	5	小数第二位 ほか7行下のそろばんの図の「小数第二位」，13行△1⑥ 0.16，139ページ5行③，11行△1○13，○14，○15，	組織が適切でない。 (小数第二位の用語や数，加減の計算は下巻43ページからの学習内容)	2-(12)	
			140ページ5行△2④，11行△3○13，○14，○15			
9	下巻 1	側注	4行右の側注の「立体」	児童にとって理解し難い用語である。 (未習の用語)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 104-133		学校 小学校		教科 算数	種目 算数	学年 4
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準	
	ページ	行				
10	26	5 － 6	2人がどのように考えたか、おはじきを線でかこみましょう。	学習上の支障を生ずるおそれがある。 （おはじきがかかれていない部分を、おはじきを線で囲むことで表せないという支障を生ずるおそれがある。）	2-(1)	
11	57	吹き出し	中左のはるとの吹き出しの「面積を数で表すには」 ほか、58ページ中左のゆうの吹き出しの「面積を数で表せるね。」， 70ページ下右のさらの吹き出しの「面	児童にとって理解し難い表現である。 （56ページ5～6行の面積の定義との関係が分からない。）	3-(3)	
			積を数で表すとき」， 73ページ2行「面積が数で表されたとき」			
12	73	表	下の表の右下の欄の「（＝630000cm ² ）」	児童にとって理解し難い表現である。 （何と等しいのか分からない。）	3-(3)	
13	76	図	下の日本の図	児童が誤解するおそれのある図である。 （北海道）	3-(3)	
14	91	吹き出し	下の吹き出し「？ いくらわり進めても、わり切れないことはあるのかな？」 ほか92ページ5行「右のように、わり進めて計算しました。」，中左のゆう	児童にとって理解し難い表現である。 （91ページ6行の「わり進める」の定義との関係が分からない。）	3-(3)	
			の吹き出し「このままわり進めても、わり切れないよ。」			
15	117	図	左上の図の赤色の矢印，左下の図の下の赤色の矢印及び中右下の図の赤色の矢印	児童にとって理解し難い矢印である。 （何を意味しているのか分からない。）	3-(3)	
16	146	吹き出し	中のさらの吹き出し「2012年からは、買った金がかくはふえているけど、買った量はへっているね。」	不正確である。	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 104-134		学校 小学校		教科 算数	種目 算数	学年 5
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準	
	ページ	行				
1	上巻 表見返	側注	7～9行右の側注の「反比例」	児童にとって理解し難い用語である。 (上の学年で学習する未習の用語)	3-(3)	
2	1	側注	10行右の側注の「□15」 ほか18行の「□15」	表記が不統一である。 (下巻の章番号の色)	3-(4)	
3	7	囲み	中上の「名人ポイント②」	児童にとって理解し難い表現である。 (どのように「使いやすくなる」のか分からない。)	3-(3)	
4	37	表	中の○イの「積んだレンガの数と全体の 高さ」の表	誤りである。 (表の上段と下段の対応)	3-(1)	
5	64	8 － 9	最小公倍数を求めてから、その数の倍 数を考えれば、そのほかの公倍数を求 めることができます。 ほか右下のはとの吹き出し	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されておら ず、また、発展的な学習内容であることが明示され ていない。 (公倍数と最小公倍数との関係を一般的に扱うこと)	2-(17)	
6	69	8 － 9	最大公約数を求めてから、その数の約 数を考えれば、そのほかの公約数を求 めることができます。 ほか右のゆうの吹き出し	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されておら ず、また、発展的な学習内容であることが明示され ていない。 (公約数と最大公約数との関係を一般的に扱うこと)	2-(17)	
7	73	吹き出 し	左下のさらの吹き出しの「ある数を整 数倍してできる数を、その数の倍数と いいます。」	不正確である。 (倍数の説明として)	3-(1)	
8	77	表	4～7行右の「シートの数とすわってい る人数」の表の○ウ の欄の「12」	不正確である。 (立っている人数も含まれている。)	3-(1)	
9	122	吹き出 し	7～8行右のナーゼの吹き出しの「1Lあ たりにまく水の量」	誤りである。	3-(1)	
10	169	9 － 10	□3	発展的な学習内容であることが明示されていない。 (9の倍数になることを一般的に説明する学習)	2-(17)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 104-134		学校 小学校		教科 算数	種目 算数	学年 5
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検定基準	
	ページ	行				
11	171	32 左	→160ページ	児童にとって理解し難いページである。 (「10単位量あたりの大きさ(2)」との関連が分からない。)	3-(3)	
12	下巻 1	8	5年のふく習をしよう	表記が不統一である。 (144ページ2行の表題)	3-(4)	
13	74	16 - 17	正多角形では、円の中心のまわりの角を辺の数で等分しています。	児童にとって理解し難いまとめである。 (どこで学習した内容のまとめなのか分からない。)	3-(3)	
14	75	囲み	中の「あかりさんの考え」の囲み内の「中心」(2箇所) ほか86ページ中右のさらの吹き出しの「中心」	児童にとって理解し難い用語である。 (「中心」が何か説明がないので分からない。)	3-(3)	
15	77	13	それぞれの円の直径の何倍の長さですか。	児童にとって理解し難い表現である。 (円は1つしかない。)	3-(3)	
16	107	吹き出し	下のはるとの吹き出し「容積は正方形の1辺が2cmのときにいちばん大きくなって、それより長くなると容積が小さくなるね。」	不正確である。 (どの範囲で考えるのか示されていない)	3-(1)	
17	116	18 - 24	④	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (借りる人数の上限が示されていないので、解答できないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)	
18	130	1	あかりさんとさらさんが選んだ○いと○き の立体	児童にとって理解し難い表現である。 (「選んだ」をどのような意味で使っているのか分からない。)	3-(3)	
19	141	グラフ	上のグラフの表題	児童が誤解するおそれのある表現である。 (日本人が1日に食べる食べ物がグラフに示された7項目だけと誤解するおそれがある。)	3-(3)	
20	153	6	苗木を植えてから	不正確である。 (「ロシアタンポポ」に苗木はない。)	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 104-135		学校 小学校		教科 算数	種目 算数	学年 6
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準	
	ページ	行				
1	上巻 表見返	側注	6行右の側注の「文字式」	児童にとって理解し難い用語である。 (中学校で学習する未習の用語)	3-(3)	
2	1	15	バランスのよい食事を考えよう	表記が不統一である。 (210ページ2～3行の表題)	3-(4)	
3	4	囲み	12行右のマトメールの囲み内の「点対象」	誤りである。	3-(1)	
4	7	囲み	中上の「名人ポイント②」	児童にとって理解し難い表現である。 (どのように「使いやすくなる」のか分からない。)	3-(3)	
5	86	吹き出し	③のイラストのはるとの吹き出し「今年の6年1組の新体力テストのデータを先生にもらってきたよ。」	児童が誤解するおそれのある表現である。 (個人情報の取扱いについて)	3-(3)	
6	105	表	上の「インターネット上での経験を調査し、まとめた」表	学習上必要な出典が示されていない。	2-(10)	
7	137	11 - 12	□1②の「赤い方眼□を、2個で100cm ² と考えて」	児童にとって理解し難い表現である。 (なぜ一辺が10mの正方形の大きさを「100cm ² 」と考えるのか分からない。)	3-(3)	
8	138	図	△3の仲姫命陵古墳の図の寸法	不正確である。	3-(1)	
9	164	9	= (～) × (～)	誤りである。	3-(1)	
10	210	囲み	中の「料理カードの見方」の囲み内の「ミートソーススパゲティ」の「裏」の項目	相互に矛盾している。 (260ページの「ミートソーススパゲティ」のカードの裏面の項目と不对応)	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 104-135		学校 小学校		教科 算数	種目 算数	学年 6
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準	
	ページ	行				
11	211	表	上の表の右下の欄の「ビタミン（無機質）」	表記が不統一である。 （210ページ中の「料理カードの見方」の囲み内の「○ビ…ビタミン・無機質」）	3-(4)	
12	214	表	上の表の最頻値を記入する欄	学習上の支障を生ずるおそれがある。 （最も多く出てくる値が複数ある場合の最頻値の扱いが示されていないので、解答できないという支障を生ずるおそれがある。）	2-(1)	
13	221	図	△3②の○う，○え の図	学習上の支障を生ずるおそれがある。 （どのような図形か分からないので、解答できないという支障を生ずるおそれがある。）	2-(1)	
14	260	囲み	「ハンバーグ」の欄の「牛肉」	相互に矛盾している。 （211ページの表と不对応）	3-(1)	
15	下巻 26	図	①のイラストの「日本北部の図」 ほか④のイラストの「日本の図」	児童が誤解するおそれのある図である。 （北海道）	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 104-136		学校 小学校		教科 算数	種目 算数	学年 1
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準	
	ページ	行				
1	134	吹き出し	右下のどんちゃんの吹き出し「ほかにも ひく かずを かえて、かんがえて みよう。」	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (引く数をここまで学習した数に変えることにより、場合によっては未習の問題ができるため、解答できないという支障を生ずるおれがある。)	2-(1)	
2	187	7	右(みぎ)の □(しかく)	児童にとって理解し難い表現である。 (「□(しかく)」がどの部分を指すのか分からない。)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 104-137		学校 小学校		教科 算数	種目 算数	学年 2
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準	
	ページ	行				
1	上巻 10	1	たんげん	児童にとって理解し難い表現である。 (「たんげん」が何を示しているのか分からない。)	3-(3)	
2	60	11 - 12	◇4の「下の ○あ と○い の めも りが あらわす 長さは どれだけ でしょうか。」	児童にとって理解し難い表現である。 (どこからの長さか分からない。)	3-(3)	
3	145	8 - 10	○い のように しじすると、☆1と☆ 10が それぞれ いくつ あつめられ るでしょうか。	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (はじめのロボットの位置が不明なため、何個集め られるかが求まらないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)	
4	下巻 6	6 - 7	△2 ほか7ページ7行△3	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (6ページ6行上の設定で考えるのか、5ページの設定 で考えるのがはっきりしていないので、解答でき ないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)	
5	69	7	◇1の「どこを直すと、はこの形が作 れるでしょうか。」	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されておら ず、また、発展的な学習内容であることが明示され ていない。 (正方形や長方形の面で構成される箱の形を超える 学習)	2-(17)	
6	77	写真	右上の写真のキャプション「那須フラ ワーワールド」	特定の営利企業の宣伝になるおそれがある。	2-(7)	
7	79	囲み	12行下の「算数のミカタ 4ページ」	児童にとって理解し難いページである。 (「算数のミカタ」と「4ページ」の関連が分からな い。)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 104-138		学校 小学校		教科 算数	種目 算数	学年 3
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準	
	ページ	行				
1	上巻 表見返	写真	右上の写真のキャプション「さがみ湖 リゾート プレジャーフォレスト」	特定の営利企業の宣伝になるおそれがある。	2-(7)	
2	10	2	単元	児童にとって理解し難い表現である。 (「単元」が何を示しているのか分からない。)	3-(3)	
3	105	14 - 15	もっとやってみよう	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されてい ない。 (「もっとやってみよう」が発展的な学習内容に含 まれるのかどうか分からない。)	2-(17)	
4	下巻 表見返	写真	右上の写真のキャプション「別府ラク ランチ」	誤りである。	3-(1)	
5	117	8	○あ 3年生が～カレーである。 ほか13～14行「○お カレーが～学年 全体の人数の1/2より多い。」	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (3年の組の構成がどうなっているのか説明がないの で、解答できないという支障を生ずるおそれがある 。)	2-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 104-139		学校 小学校		教科 算数	種目 算数	学年 4
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準	
	ページ	行				
1	上巻 10	1	単元	児童にとって理解し難い表現である。 (「単元」が何を示しているのか分からない。)	3-(3)	
2	161	5 - 12	① 富士山の高さを、～富士山の高さ(m) ② 都道府県の数、～都道府県の数 47 上のように、古代エジプトの数字を使	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されておらず、また、発展的な学習内容であることが明示されていない。	2-(17)	
			った問題をつくり、友だちと出し合い ましょう。			
3	下巻 15	写真	上右の辺の長さと面積の関係を示した 写真	児童にとって理解し難い写真である。 (なぜ、縮小元の写真と縮小された写真の範囲が異 なっているのか分からない。)	3-(3)	
4	103	7 - 8	△1	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (与えられた直方体の図の面が正方形なのかどうか 判断できないので、解答できないという支障を生ず るそれがある。)	2-(1)	
5	112	8 - 10	△2	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (すべり台の真下の位置が不明なため、すべり台の てっぺんの位置を表せないという支障を生ずるおそ れがある。)	2-(1)	
6	128	11 - 13	もっとやってみよう	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されてい ない。 (「もっとやってみよう」が発展的な学習内容に含 まれるのかどうか分からない。)	2-(17)	
7	164	11 - 13	4上161ページを見て、古代エジプトの 数字でいろいろな単位分数を表してみ ましょう。 また、ステビンの方法でいろいろな小 数を表してみましょう。	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されておらず、また、発展的な学習内容であることが明示されていない。	2-(17)	
8	165	吹き出 し	下のぐりちゃんの吹き出しの「ます目 2」	児童にとって理解し難い表現である。 (説明がないので何を表しているのか分からない。)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 104-140		学校 小学校		教科 算数	種目 算数	学年 5
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準	
	ページ	行				
1	1	囲み	上の囲み内の1行目の「単元」	児童にとって理解し難い表現である。 （「単元」が何を示しているのか分からない。）	3-(3)	
2	28	吹き出し	11～12行右のぐりちゃんの吹き出しの「10cm ³ 」	誤りである。	3-(1)	
3	287	10 － 14 左	「13 割合とグラフ」の□5②の解答の理由	不正確である。 （概数であることを考慮していない。）	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 104-141		学校 小学校		教科 算数	種目 算数	学年 6
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準	
	ページ	行				
1	1	囲み	上の囲み内の1行目の「単元」	児童にとって理解し難い表現である。 (「単元」が何を示しているのか分からない。)	3-(3)	
2	97	16 - 17	一定の割合で最大と最小の値を除いて	児童にとって理解し難い表現である。 (データにおいて値としては1つずつしかない「最大」, 「最小」を「一定の割合で除いて」とはどういうことか分からない。)	3-(3)	
3	152	5 - 9	② 及びゆきの吹き出し, 「底面積と高さがそれぞれ等しい角柱と円柱では、円柱のほうが周りの面積は小さくなります。」, どんちゃんの吹き出し	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されておらず, また, 発展的な学習内容であることが明示されていない。 (立体図形の表面積の求め方を考える学習)	2-(17)	
4	169	14 - 20	③ 及びみなとの吹き出し, ぐりちゃんの吹き出し	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されておらず, また, 発展的な学習内容であることが明示されていない。 (折れ線グラフではない比例以外のグラフを扱う問題)	2-(17)	
5	208	13	次のように説明しました。	児童にとって理解し難い表現である。 (「れお」の説明のどこが「的当てゲームの点数ごとの難しさを確かめる」ことになっているのか分からない。)	3-(3)	
6	235	7	等式	児童にとって理解し難い用語である。 (説明がないので分からない。)	3-(3)	
7	247	25	□4の○う	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (「a」, 「b」の条件が不足しているため数を代入できない場合もあるので, 確かめることができないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)	
8	261	5 - 8 左	「1 文字を使った式」の□2の解答例	不正確である。 (247ページ□2の設問に答えていない。)	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 104-142		学校 小学校		教科 算数	種目 算数	学年 1
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準	
	ページ	行				
1	上巻 表見返	13	● さんすう みつけた…48	上巻48ページタイトルと表記が不統一である。	3-(4)	
2	1	囲み	「もくじ」の囲みの中段8行「● わくわく プログラミング」	下巻94ページタイトルと表記が不統一である。	3-(4)	
3	40 - 41	写真	写真中央の「ギンビス」，「たべっ子 どうぶつ」 他に，写真中央下の「Calbee」， 42-43ページ写真の「MOON LIGHT」， 43ページ写真の「Jagabee」	特定の営利企業や商品の宣伝になるおそれがある。	2-(7)	
4	下巻 64	1 - 2	■7	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (たす数によっては未習の計算となるため，解答できないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)	
5	80	1 - 2	■7	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (ひかれる数によっては未習の計算となるため，解答できないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)	
6	144	11	100までの かず……103ページ	児童にとって理解し難い表現である。 (103ページではこの「ことば」を扱っていないので分からない。)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 104-143		学校 小学校		教科 算数	種目 算数	学年 2
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準	
	ページ	行				
1	上巻 12	2	たんげん 他に、17ページ、18ページ、22ページ、 27ページ、33ページ、34ページ、46 ページ、47ページ、62ページ、73ペー ジ、86ページ、87ページ、95ページ、	児童にとって理解し難い表現である。 (何を示しているのか分からない。)	3-(3)	
			102ページ、113ページ、 下巻5ページ、24ページ、39ページ、 40ページ、55ページ、67ページ、75ペ ージ、76ページ、83ページ、86ページ 、94ページ、95ページ、102ページ、			
			103ページ			
2	15	吹き出 し	左下のはるの吹き出し「右の グラフ を 見ると、絵本を よんだ 人が いちばん 多いと わかるね。」	不正確である。 (よんだ人の数は分からない。)	3-(1)	
3	33	写真	10行下の右上の写真のキャプション「 よこはまコスモワールド」	特定の営利企業の宣伝になるおそれがある。	2-(7)	
4	62	図	えんぴつくんのイラスト下の「3〇＋ 4 9」と「〇2－4 6」の筆算の図	児童にとって理解し難い表現である。 (筆算においてなぜ位がずれているのか分からない 。)	3-(3)	
5	95	11 － 12	Lや mLの たんいが つかわれて いる いれものを さがして みまし た。	児童にとって理解し難い表現である。 (12行下の写真には「L」の単位が使われている容器 の写真がない。)	3-(3)	
6	95	吹き出 し	中右のえんぴつくんの吹き出し「m1や mℓと かいて ある ものも あり ます。」	児童にとって理解し難い表現である。 (何をm1, mℓとかいているのか分からない。)	3-(3)	
7	100	13	△4⑧	児童にとって理解し難い問題である。 (どのような計算をするのか分からない。)	3-(3)	
8	132	イラス ト	「大きい 数(1年)」の囲みにおけ る100の束のイラスト	不正確である。 (100を1つのまとまりとみることは「1年までに 学 しゅうした こと」ではない。)	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 104-143		学校 小学校		教科 算数	種目 算数	学年 2
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検定基準	
	ページ	行				
9	下巻 39	11	九九の もようクイズ 他に、えんぴつくんの吹き出しにおける「九九の もよう」	児童にとって理解し難い表現である。 (「九九の もよう」の説明がないので分からない。)	3-(3)	
10	87	図	1000と表示された図 (5箇所) 他に、88ページの1000と表示された図 (2箇所)、125ページの1000と表示された図 (3箇所)	児童が誤解するおそれのある図である。 (10000を表す図であると誤解するおそれがある。)	3-(3)	
11	94	写真	駐車料金が表示された案内板の写真における「1,200」	児童にとって理解し難い表現である。 (3桁区切りの数の表示)	3-(3)	
12	99	吹き出し	下のゆいの吹き出し「同じ 形の 面が 2まいずつ、ぜんぶで 6まい があると、はこの 形が できます。」	不正確である。 (この条件では箱は構成できない。)	3-(1)	
13	111	囲み	左下の囲み「ゆいさんの プログラム」の「前に□2すすむ」, 「前に□4すすむ」	児童にとって理解し難い表現である。 (110ページの「めいれい」には「前に□1すすむ」しか示されていない。)	3-(3)	
14	119	14	カードれんしゅう…… 129ページ	相互に矛盾している。 (12行の説明と不対応)	3-(1)	
15	120	12	㊸ 九九の きまり	相互に矛盾している。 (68ページ1行の㊸の表題と不対応)	3-(1)	
16	128	2 右	(67mm)	児童にとって理解し難い解答である。 (どのような意味で書いているのか分からない。)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 104-144		学校 小学校		教科 算数	種目 算数	学年 3
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準	
	ページ	行				
1	上巻 10	12	たんげん 他に, 17, 18, 31, 36, 48, 50, 55, 56, 71, 72, 96, 102, 113, 114, 127 ページ, 下巻3, 13, 22, 38, 56, 67, 68, 81,	児童にとって理解し難い表現である。 (何を示しているのか分からない。)	3-(3)	
			84, 91, 92ページ			
2	33	図	2行右の図における線の中央とその右の区切りの線 他に, 3行右の図における線の中央の区切りの線	児童にとって理解し難い図である。 (なぜ初めから区切りの線が付いているのか分からない。)	3-(3)	
3	99	1 - 5	□4	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (「あすかさんの家」が示されておらず, 解答できないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)	
4	130	図	下の1000と表示された図 (2箇所) 他に, 142ページ左上の1000と表示された図 (2箇所)	児童が誤解するおそれのある図である。 (10000を表す図であると誤解するおそれがある。)	3-(3)	
5	下巻 103	5	1つずつ買うことができますか	脱字である。 (句点がない。)	3-(2)	
6	117	13 - 15	△12	児童にとって理解し難い問題である。 (式における□の使い方として)	3-(3)	
7	118	8 - 10	△15	基準となる1メートルを示さずに長さを求めることは, 学習指導要領に示す内容に照らして, 扱いが不適切である。 (内容A(6)ア(7))	2-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 104-145		学校 小学校		教科 算数	種目 算数	学年 4
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準	
	ページ	行				
1	上巻 10	2	単元 他に、22, 23, 36, 47, 49, 63, 83, 84, 95, 102, 116, 127, 128ページ、 下巻2, 17, 18, 32, 38, 51, 60, 67, 70, 79, 82, 89ページ	児童にとって理解し難い表現である。 (何を示しているのか分からない。)	3-(3)	
2	22	吹き出し	右上のはるの吹き出しにおける「上あがり」	児童にとって理解し難い表現である。 (どのような意味か分からない。)	3-(3)	
3	22	写真	中左の自転車の写真における「セドナ」(2箇所)	特定の商品の宣伝になるおそれがある。	2-(7)	
4	22	吹き出し	下のえんぴつくんの吹き出し「大きな数は、3けたごとに区切って表すときがあるよ。」	学習指導要領に示す内容の取扱いに照らして、扱いが不適切である。 (内容の取扱い(1))	2-(1)	
5	30	吹き出し	左下のエマの吹き出しにおける「小さい」	児童にとって理解し難い表現である。 (説明がないので分からない。)	3-(3)	
6	41	吹き出し	中右のえんぴつくんの吹き出し「このようにとき、0はかかなくてもいいです。」	児童にとって理解し難い表現である。 (どの「0」のことを示しているのか分からない。)	3-(3)	
7	59	6 － 9	算数ポケット 回転した大きさの表し方	発展的な学習内容であることが明示されていない。 (360° より大きな回転角の学習)	2-(17)	
8	131	図	6-7行右の図における「もとの長さ20cm」	相互に矛盾している。 (3行の説明と不対応)	3-(1)	
9	149	7 － 8	△27	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されておらず、また、発展的な学習内容であることが明示されていない。 (360° より大きな回転角の学習)	2-(17)	
10	下巻 28	吹き出し	下のれんの吹き出し「切り捨てて見積もると小さくなって、切り上げて見積もると大きくなるから、買えるかどうかははっきりわかるね。」	児童にとって理解し難い表現である。 (なぜ「はっきりわかる」のか分からない。)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 104-145		学校 小学校		教科 算数	種目 算数	学年 4
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準	
	ページ	行				
11	44	脚注	もっと練習→124ページ△41△42	組織が適切でない。 (44ページの学習の後に124ページ△41△42の問題に取り組んでよいことになっているが、これらの問題に取り組むためには、45ページでの学習が必要である。)	2-(12)	
12	45	脚注	もっと計算→124ページ△43△44	組織が適切でない。 (45ページの学習の後に124ページ△43△44の問題に取り組んでよいことになっているが、これらの問題に取り組むためには、46ページでの学習が必要である。)	2-(12)	
13	55	吹き出し	下のかずの吹き出し「人数のふえ方を表に整理してみると……」，「[表]」	組織が適切でない。 (表を使って増え方を考察するのは、82ページからの学習内容である。)	2-(12)	
14	65	写真	4行下のコンピュータ画面の写真の左上のマーク，及び表題の「Excel」	特定の商品の宣伝になるおそれがある。	2-(7)	
15	67	囲み	左下の奈良公園新聞	児童にとって理解し難い記事である。 (2021年1月頃の記事として)	3-(3)	
16	78	13	△3	児童にとって理解し難い問題番号である。 (同ページ7行にも△3がある。)	3-(3)	
17	78	13 - 19	△3	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (エマの吹き出しをどのように扱ってよいのか分からず，解答できないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)	
18	81	12 - 13	「読者が好き」に「はい」，「1月に10さつ以上よんだ」に「いいえ」と答えた人	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (「，」がどのような意味で用いられているか分からず，△7に解答できないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)	
19	98	図	10行下の立面図と平面図	誤りである。	3-(1)	
20	116	1	答え△126ページ	誤りである。 (126ページに答えはない。)	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 104-145		学校 小学校	教科 算数	種目 算数	学年 4
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準
	ページ	行			
21	129	20 右	△58の解答の図	誤りである。 (点Bの位置)	3-(1)
22	130	囲み	左上の「整数・小数と位(4上)」の 囲みにおける2つ目の表の右「10倍」 ，「10でわる」	相互に矛盾している。 (表に示された数の関係と相互に矛盾している。)	3-(1)
23	132	5 左	以下…○下 24ページ 他に，左段 6行「以上…○下 24ページ」， 10行「がい算…○下 27ページ」， 14行「切り上げ…○下 22ページ」，	誤りである。	3-(1)
			15行「切り捨て…○下 22ページ」， 16行「空間…○下 104ページ」， 右段 14行「未満…○下 24ページ」， 16行「約…○下 20ページ」		

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 104-146		学校 小学校		教科 算数	種目 算数	学年 5
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準	
	ページ	行				
1	10	4	単元 他に、15, 16, 29, 30, 34, 49, 52, 67, 68, 76, 93, 102, 113, 114, 131, 134, 156, 157, 164, 166, 174, 187, 194, 198, 205, 206, 215, 218	児童にとって理解し難い用語である。 (何を示しているのか分からない。)	3-(3)	
			, 226, 233, 234ページ			
2	22	1	面積の求め方の工夫	誤りである。	3-(1)	
3	34	5	3mでは、 $80 \times \square 2 = \square$	誤りである。	3-(1)	
4	48	17	$\triangle 5① \quad 17.5 + 1.8 + 1.2 = 1.75 + \square$	児童にとって理解し難い問題である。 (学びのまとめとして)	3-(3)	
5	53	吹き出し	中央左のはるの吹き出し「ねだんは長さに比例するから、長さが2.4倍になると、ねだんも2.4倍になるね。」	児童が誤解するおそれのある表現である。 (比例が小数倍の根拠になるかのように誤解するおそれがある。)	3-(3)	
6	77	吹き出し	中央左のりこの吹き出しにおける「〇い」	誤りである。	3-(1)	
7	90	図	上の図の図形名「五角形」, 「六角形」, 「七角形」, 「八角形」	児童にとって理解し難い図形名である。 (説明がないので分からない。)	3-(3)	
8	106	吹き出し	中央左のかずの吹き出し「最小公倍数が24だから、6と8の公倍数は24の倍数だね。」	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されておらず、また、発展的な学習内容であることが明示されていない。 (公倍数と最小公倍数との関係を一般的に扱うこと)	2-(17)	
9	110	吹き出し	中央左のゆいの吹き出し「最大公約数が12だから、24と36の公約数は12の約数だね。」	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されておらず、また、発展的な学習内容であることが明示されていない。 (公約数と最大公約数との関係を一般的に扱うこと)	2-(17)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 104-146		学校 小学校		教科 算数	種目 算数	学年 5
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準	
	ページ	行				
10	114 － 131		⑨ 分数 （全体）	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 （内容A(4)イ(イ)「分数の表現に着目し，除法の結果の表し方を振り返り，分数の意味をまとめること。」）	2-(1)	
11	130	13	2をたした分 4+2/6+2	脱字である。	3-(2)	
12	137	1 － 2	133ページの○うの三角形	誤りである。	3-(1)	
13	150	9	133ページの○くの面積	誤りである。	3-(1)	
14	193	側注	13-14行右の側注における「見方・考え方を深めよう」	児童にとって理解し難い表現である。 （複数ある「見方・考え方を深めよう」の，どれなのか分からない。）	3-(3)	
15	210	表	中央の「牛肉の都道府県別の生産量」の表における「しゅうかく量」	児童にとって理解し難い項目名である。 （表のタイトルとの関係が分からない。）	3-(3)	
16	261	4	⑥ 割合(1)	児童にとって理解し難いタイトルである。 （下の問題との関係が分からない。）	3-(3)	
17	263	6	① 16/48=□/□ ② 9/□=3/□	児童にとって理解し難い問題である。 （式における□の使い方として）	3-(3)	
18	271	23 左	「じゅんぴ⑨分数」の解答	不正確である。 （255ページ⑨の設問に答えていない。）	3-(1)	
19	276	囲み	左上の「整数と小数」の囲みにおける2つ目の表の右「10倍」，「10でわる」	相互に矛盾している。 （表に示された数の関係と相互に矛盾している。）	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 104-146		学校 小学校		教科 算数	種目 算数	学年 5
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準	
	ページ	行				
20	279	囲み	中央右の「面積」の囲みにおける「⑤面積」	相互に矛盾している。 (135ページ1行の表題)	3-(1)	
21	280	22 右	立法センチメートル(cm^3)…17ページ他に、右段23行「立法メートル(m^3)…24ページ」	誤りである。	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 104-147		学校 小学校		教科 算数	種目 算数	学年 6
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準	
	ページ	行				
1	7	囲み	左下のそらさんのふりかえりの囲み「平行四辺形や台形の面積をくらべるときは、底辺と高さに目をつけるとよいと思いました。」	児童にとって理解し難い表現である。 (台形をどのように考えたのか分からない。)	3-(3)	
2	11	1	単元 他に、25, 26, 35, 36, 42, 55, 56, 69, 70, 81, 88, 97, 98, 105, 106, 123, 128, 139, 140, 153, 154, 181, 190, 194ページ	児童にとって理解し難い用語である。 (何を示しているのか分からない。)	3-(3)	
3	35	12 - 13	②	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (10行上の囲みの数の並びに付けられた記号と同じ記号が用いられているため、解答できないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)	
4	41	側注	14-15行右の側注における「並行」	誤りである。	3-(1)	
5	61	10	$1.8 \times 6/5 \div 2 = \square \div 6/5 \div \square$	誤りである。	3-(1)	
6	86	16	③ 長方形	誤りである。	3-(1)	
7	105	10	○あ のような立体を四角すいといいます。	児童が誤解するおそれのある表現である。 (○あ のようないれものを四角すいというかのよう に誤解するおそれがある。)	3-(3)	
8	122	側注	3-4行右の側注における「① 101ページ」, 「② 102ページ」	児童にとって理解し難いページ番号である。 (問題とページ番号との関係が分からない。)	3-(3)	
9	124	9	○ア	児童にとって理解し難い問題記号である。 (7行にも○アがある。)	3-(3)	
10	125	吹き出し	中央下のれんの吹き出し「表にかくと、順序よく調べるとちょうどよい場合を簡単にみつけることができました。」	児童にとって理解し難い表現である。	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 104-147		学校 小学校		教科 算数	種目 算数	学年 6
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検定基準	
	ページ	行				
11	134	脚注	もっと練習→253ページ△39	組織が適切でない。 (134ページの学習の後に253ページ△39の問題に取り組んでよいことになっているが、この問題に取り組むためには、136ページでの学習が必要である。)	2-(12)	
12	168	グラフ	7行下のグラフの縦軸の単位「m」	相互に矛盾している。 (□5の問題文でのyの単位「km」と不对応)	3-(1)	
13	175	図	2-4行右の長方形を変化させている図	児童にとって理解し難い図である。 (4行下の表との関係が分からない。)	3-(3)	
14	181	側注	4-5行右の側注における「③160、160ページ」	児童にとって理解し難い表現である。 (なぜ同じページ番号が示されているのか分からない。)	3-(3)	
15	184	囲み	右下のゆいさんの考えの囲みにおける「1000は、もとの商よりも小さくなるので、～1000ばいより多い。」	誤りである。	3-(1)	
16	205	8 － 15	○イ	不正確である。 (降水量と雨量を混同している。)	3-(1)	
17	206	グラフ	降水量の4都市のヒストグラム	不正確である。 (204ページの表と対応していない。)	3-(1)	
18	222	5	0.01倍	児童が誤解するおそれのある表現である。 (割合に倍をつける必要があると誤解するおそれがある。)	3-(3)	
19	225	図	右下のグラフの図における「-5」(2箇所)	児童にとって理解し難い数である。 (説明がないので分からない。)	3-(3)	
20	237	図	中央右の図	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されておらず、また、発展的な学習内容であることが明示されていない。 (負の数を用いた説明)	2-(17)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 104-147		学校 小学校		教科 算数	種目 算数	学年 6
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準	
	ページ	行				
21	237	図	中央右の図における「-8」，「-6」，「-4」，「-2」	児童にとって理解し難い数である。 (説明がないので分からない。)	3-(3)	
22	256	2	高 x cm	脱字である。	3-(2)	
23	256	グラフ	4-7行右のグラフにおける縦軸の単位「g」	誤りである。	3-(1)	
24	263	24 右	△49の解答	不正確である。 (257ページ△49の設問に答えていない。)	3-(1)	
25	267	囲み	上の「分数（5年）」の囲みにおける右段1-3行「わり算の商は、わられる数を分子、わる数を分母とする分数で表せる。 △÷□＝△／□」	児童が誤解するおそれのある表現である。 (△と□がどんな数でも△／□が分数になると誤解するおそれがある。)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 104-148		学校 小学校		教科 算数	種目 算数	学年 1
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準	
	ページ	行				
1	下巻 111	写真	右下のバスの写真における「9334」	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されておらず、また、発展的な学習内容であることが明示されていない。 (4位数の学習)	2-(17)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 104-149		学校 小学校		教科 算数	種目 算数	学年 2
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準	
	ページ	行				
1	上巻 4	2	りくさんと ひまりさんの 考え方 他に、2-3行右の側注「りくさんと ひまりさんの 考え」	児童にとって理解し難い表現である。 (4-5ページ上の黒板のイラストとの関係が分からない。)	3-(3)	
2	17	9	1年・たしざんと ひきざん 他に、31ページ9行	児童にとって理解し難いタイトルである。 (同ページ2行、14行、18行との違いが分からない。)	3-(3)	
3	24	吹き出し	6行右のクリンの吹き出しにおける「 1だんの 筆算」	児童にとって理解し難い表現である。 (何を意味しているのか分からない。)	3-(3)	
4	57	4	答え□	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (「けしゴムの 長さを もとめましょう。」と「 はるとさんの 答えは 正しいですか。」のどちら の問いに答えればよいか分からず、解答できないと いう支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)	
5	65	13 - 19	■イ	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (「ゆいさんの 話に あう」がどの時点を指して いるのか分からず、「時計の はり」をかけないと いう支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)	
6	116	吹き出し	そうたさんの吹き出しにおける「○あ の 形」, 「○いの 形」	児童にとって理解し難い形である。 (どの形を指しているのか分からない。)	3-(3)	
7	122	図	1-2行右の図	児童にとって理解し難い図である。 (どのようにして四角形を作るのか分からない。)	3-(3)	
8	134	2 - 5	□1	組織が適切でない。 (この問題は61ページの学習の後に取り組んでよい ことになっているが、「午後」は62ページで学習す る内容である。)	2-(12)	
9	134	18 - 21	◆2②③	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されておら ず、また、発展的な学習内容であることが明示され ていない。 (複雑な時刻を求める問題)	2-(17)	
10	135	図	16行◆3のキ、ク、ケを示す図	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (右に行くほど数が大きくなる数の線しか学んでお らず、解答できないという支障を生ずるおそれがあ る。)	2-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 104-149		学校 小学校		教科 算数	種目 算数	学年 2
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準	
	ページ	行				
11	138	10	答え→154～155ページ	児童にとって理解し難いページである。 (なぜ154ページが含まれているのか分からない。)	3-(3)	
12	139	4 － 5	◆2①②③④	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (＞, ＜は数の大小を表す記号としか学んでおらず , 解答できないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)	
13	139	11	□3③	組織が適切でない。 (この問題は109ページの学習の後に取り組んでよい ことになっているが, 109ページまでにこのような計 算を学んでいない。)	2-(12)	
14	149	18 － 20	②	児童にとって理解し難い問題である。 (18-20行右の図は通常の四角形ではない。)	3-(3)	
15	154	16 左	③ひき算◆1の解答	誤りである。	3-(1)	
16	154	18 右	⑦たし算と ひき算の 筆算□1の解 答	児童にとって理解し難い解答である。 (この問題には④⑤⑥もある。)	3-(3)	
17	154	23 右	⑦たし算と ひき算の 筆算◆2③の 解答	誤りである。	3-(1)	
18	155	5 左	⑧水の かさ◆2④の解答	誤りである。	3-(1)	
19	155	13 左	⑨三角形と 四角形◆1の解答「辺が 5本で、頂点が 5つ あるから。」	組織が適切でない。 (この問題は117ページの学習の後に取り組んでよい ことになっているが, 「辺」や「頂点」は118ページ で学習する内容である。)	2-(12)	
20	155	25 左	②たし算△1②の解答	不正確である。 (問題に対する答えとして)	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 104-149		学校 小学校		教科 算数	種目 算数	学年 2
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準	
	ページ	行				
21	下巻 32	1 － 3	7のだんの 九九は、～ほかの だんの 九九に 分けたり して つくれます。 他に、34ページ1-2行「8のだんの 九九も、ほかの だんの 九九に 分け	分配法則の一般論を用いて乗法九九を構成することは、学習指導要領に示す内容の取扱いに照らして、扱いが不適切である。 (内容の取扱い(4)の「主に乗数が1ずつ増えるときの積の増え方や交換法則を取り扱う」)	2-(1)	
			て つくれます。」			
22	38	12	ほかの だんの 九九に 分ける。	児童が誤解するおそれのある表現である。 (分配法則の一般論を用いて乗法九九を構成したと誤解するおそれがある。)	3-(3)	
23	39	吹き出し	右下のそうたさんの吹き出しにおける「10のだん」, 「11のだん」 他に、46ページ5行「12の だん」	児童にとって理解し難い表現である。 (説明がないので分からない。)	3-(3)	
24	61	7 － 12	■イ	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されておらず、また、発展的な学習内容であることが明示されていない。 (簡単な場合の3位数などの減法を超える計算)	2-(17)	
25	93	14 － 15	はこの 形は、同じ 長さの ひごが 4本ずつで ぜんぶで 12本、ねんど玉が 8つです。	児童にとって理解し難い表現である。 (主語と述語の関係が分からない。)	3-(3)	
26	97	7 － 9	長方形を おって、1/2の 大きさを つくりましょう。	児童にとって理解し難い表現である。 (何の1/2の大きさを作るのか分からない。)	3-(3)	
27	104		先生の つくえに たどりつこう！ (全体)	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (友達の初めの位置と向きの設定が分からず、考察できないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)	
28	105	囲み	ロボくんへの めいれい書	児童にとって理解し難い表現である。 (どのような設定を想定しているのか分からない。)	3-(3)	
29	119	9 － 12	◆1	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されておらず、また、発展的な学習内容であることが明示されていない。 (正方形や長方形の面で構成される箱の形を超える学習)	2-(17)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 104-149		学校 小学校		教科 算数	種目 算数	学年 2
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準	
	ページ	行				
30	120	6	答え→ 000ページ	児童にとって理解し難いページである。 (000ページが何か分からない。)	3-(3)	
31	123	22	△3③	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されておらず、また、発展的な学習内容であることが明示されていない。 (簡単な場合の3位数などの減法を超える計算)	2-(17)	
32	130 - 131	2 - 9	九九の「ミニひょう」を つくろう	児童にとって理解し難い表現である。 (「ミニひょう」が何か分からない。)	3-(3)	
33	133	3 - 4 左	⑩はこの 形◆1の解答	児童にとって理解し難い解答である。 (どのような向きで動かすのか分からない。)	3-(3)	
34	133	28 - 30 左	⑮もんだいの 考え方△1の解答	児童にとって理解し難い解答である。 (なぜ「たし算」や「ひき算」が含まれているのか分からない。)	3-(3)	
35	133	14 右	③の②の解答「(じゅんに) 21、16」	児童にとって理解し難い解答である。 (「じゅんに」の意味が分からない。)	3-(3)	
36	139		九九★ビンゴゲーム (全体)	主たる記述と適切に関連付けて扱われていない。 (この切り取り教材を使うページに、この教材がこのページにあることが示されていない。)	2-(13)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 104-150		学校 小学校		教科 算数	種目 算数	学年 3
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準	
	ページ	行				
1	上巻 119	図	巻き尺のケースの図	児童にとって理解し難い図である。 (巻き尺の構造として)	3-(3)	
2	148	5	①かけ算△1②の「①の2つの考えで説明しましょう。」	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (それぞれの考え方で解答するのか、1つの考え方で解答するのか分からず、解答できないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)	
3	149	5 - 6	③時間の計算と短い時間△1①	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (この問題における「台」や「走る」がどんな意味で使われているのか説明がないので、解答できないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)	
4	下巻 5	13	2年・たし算	児童にとって理解し難い表現である。 (□3には第3学年での学習内容も含まれている。)	3-(3)	
5	18	4 - 5	かけ算の暗算では、上の位から計算したほうが答えがもとめやすくなります。	児童にとって理解し難い表現である。 (なぜ求めやすくなるのか分からない。)	3-(3)	
6	46	1 - 2	m、L、gの前につく文字は、その単位の大きさを表しています。	児童にとって理解し難い表現である。 (「単位の大きさ」が何か分からない。)	3-(3)	
7	116	表	○ウの②の欄の「向かいあっている□つ」	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (向かいあった辺の数の意味が分からず、解答できないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)	
8	116	吹き出し	左下のはるとさんの吹き出しの長方形と正方形を変形した四角形の図	児童にとって理解し難い図である。 (吹き出しの2行目の説明通りになっていない。)	3-(3)	
9	133		⑭ □を使った式 (全体)	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されておらず、また、発展的な学習内容であることが明示されていない。 (数量を□などを用いて表し、その関係を式に表したり、□などに数を当てはめて調べたりすることを	2-(17)	
				超える内容)		

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 104-150		学校 小学校		教科 算数	種目 算数	学年 3
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準	
	ページ	行				
10	141	23 右	158ページ	誤りである。	3-(1)	
11	143	囲み	左段⑦の囲みの「3 上」	児童にとって理解し難い表現である。 (なぜ「3 上」なのか分からない。)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 104-151		学校 小学校		教科 算数	種目 算数	学年 4
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準	
	ページ	行				
1	上巻 12	図	図中央のインドの人口「1380040000人」	不正確である。	3-(1)	
2	54	1	東京都の月別の気温 他に、3行下のグラフの表題	不正確である。 (東京都全体の「月別の気温」ではない。)	3-(1)	
3	86	写真	中上の「ゲノム編集トマト 販売開始」の新聞記事における「パイオニアエコサイエンス」, 「サナテックシード」	特定の営利企業や商品の宣伝になるおそれがある。	2-(7)	
4	119	13 - 14	3けた÷2けたの筆算で百の位に商がたたないときは、十の位までふくめた数で計算して商をたてます。	児童にとって理解し難い表現である。 (なぜ百の位に商が立たないことが条件になるのか分からない。)	3-(3)	
5	140	23	記録ののび方	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (記録ののび方の意味の説明がなく、◆2に解答できないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)	
6	151	5 - 6	△1③	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されておらず、また、発展的な学習内容であることが明示されていない。 (360° より大きな回転角の学習)	2-(17)	
7	160	35 左	③折れ線グラフと表◆1③の解答例	不正確である。 (午前6時の部屋の温度)	3-(1)	
8	161	6 左	⑦わり算(2)◆4の解答	不正確である。	3-(1)	
9	下巻 12	写真	右下の③の写真	児童にとって理解し難い写真である。 (点アがどこにあるのか分からない。)	3-(3)	
10	55	図	8行下の図における「□倍」 (4箇所)	児童にとって理解し難い表現である。 (□倍が長さに対するものなのか面積に対するものなのか分からない。)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号		104-151		学校	小学校		教科	算数		種目	算数		学年	4	
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準										
	ページ	行													
11	134	5	フローチャート 他に、135ページ10行	児童にとって理解し難い表現である。 (説明がないので分からない。)	3-(3)										
12	153	15 - 18	△3 はってん5年	発展的な学習内容には該当しない。	2-(15)										
13	154	15	△2 はってん5年	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (小数でわることを学習しておらず、解答できない という支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)										
14	162	21 左	⑪式と計算◆2の解答	誤りである。	3-(1)										
15	162	40 右	⑪式と計算△1の「りくさんの考え」 の解答	児童にとって理解し難い解答である。 (どのように考えるとこのような解答になるのか分 からない。)	3-(3)										
16	163	32 - 35 左	わけ 他に、右段2-3行、5-7行、9-11行「わ け」	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されておら ず、また、発展的な学習内容であることが明示され ていない。 (特別な四角形になるための条件の利用)	2-(17)										
17	163	2 - 3 右	円を使って四角形をつくろう②の解答 における「●2 長方形」のわけ、 他に、右段5-7行「●3 平行四辺形」 のわけ	誤りである。	3-(1)										
18	167	図	5行下の図における「①」, 「②」	誤りである。	3-(1)										

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 104-152		学校 小学校		教科 算数	種目 算数	学年 5
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準	
	ページ	行				
1	29	囲み	右上の見方・考え方の囲みにおける「身のまわりのものを体積や容積で表す。」	児童にとって理解し難い表現である。 (ものを体積や容積で表すことの意味が分からない。)	3-(3)	
2	47	4	小数のかけ算では、ふつう、答えの終わりの0は消します。	児童にとって理解し難い表現である。 (どのような場合を「ふつう」としているのか分からない。)	3-(3)	
3	88	図	9行下の三角形○いの図	合同な三角形を2辺と間にない角でかくことができるかどうかを問うことは、学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容B(1)ア(7))	2-(1)	
4	93	18 - 19	□5 ①, ②	児童にとって理解し難い表現である。 (16-17行の表現との関係が分からない。)	3-(3)	
5	111	囲み	9-10行右の囲み「 $\sim/\sim=2/3$ 」	誤りである。	3-(1)	
6	122	図	中央右の点A, B, C, Dと線だけの図	児童にとって理解し難い図である。 (点Aと点Cに集まる線の数が読みとれない。)	3-(3)	
7	144	写真	右上の飛行機の写真	特定の営利企業の宣伝になるおそれがある。	2-(7)	
8	191	12 - 13	現在では、コンピュータを使って計算し、円周率がどこまでも続く終わりのない数であることはわかっています。	児童が誤解するおそれのある表現である。 (円周率がどこまでも続く終わりのない数であることが、コンピュータを使って初めて分かったかのように誤解するおそれがある。)	3-(3)	
9	194	囲み	5-7行右の見方・考え方の囲みにおける「192ページのクッキーのねだんを求めたとき」	誤りである。 (192ページではクッキーのねだんを求めている。)	3-(1)	
10	231	グラフ	3行下の帯グラフ及び円グラフにおける項目名「本の貸し借り」	児童にとって理解し難い項目名である。 (図書室の利用者として本を貸すことがどのようなことか分からない。)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 104-152		学校 小学校		教科 算数	種目 算数	学年 5
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準	
	ページ	行				
11	258	15	フローチャート	児童にとって理解し難い表現である。 (説明がないので分からない。)	3-(3)	
12	259	3 - 10	②～⑤	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (使用できるブロックについての説明がなく、プログラムをつくることができないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)	
13	295		② (ページ全体)	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (どの範囲で考えてよいのか分からず、解答できないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)	
14	307	11 左	ふたのない箱の容積を調べよう 294ページ②●2の表における3cmのときの容積「196」、4cmのときの容積「243」	誤りである。	3-(1)	
15	310	囲み	左下の㊸の囲みの②における「点アの分度器の中心をあわせ」	誤りである。	3-(1)	
16	315	囲み	右上のクリンの囲みの数直線における「青」	児童にとって理解し難い表現である。 (なぜ「青」なのか分からない。)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 104-153		学校 小学校		教科 算数	種目 算数	学年 6
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準	
	ページ	行				
1	74	7 － 8	青のテープの長さは、赤のテープの長さの□倍です。	児童にとって理解し難い表現である。 (②の数直線図との関係が分からない。)	3-(3)	
2	102	グラフ	中央左の「1970年」のグラフ	児童にとって理解し難いヒストグラムである。 (目盛りがなく割合をよみとることができない「棒」がある。)	3-(3)	
3	129	5 － 9	□イ	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (○ア, ○ウの底面がどのような図形なのか分からず, 解答できないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)	
4	200 － 201		算数ジャンプ 二進数ってどんな数 (全体)	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されておらず, また, 発展的な学習内容であることが明示されていない。 (二進法の学習)	2-(17)	
5	202	10	フローチャート 他に, 203ページ2行	児童にとって理解し難い表現である。 (説明がないので分からない。)	3-(3)	
6	203	1	Scratch 他に, 2行	児童にとって理解し難い表現である。 (説明がないので分からない。)	3-(3)	
7	203	図	5-8行右の図 他に, 12-13行右の図	児童にとって理解し難い図である。 (説明がないので分からない。)	3-(3)	
8	203	12	プログラム	児童にとって理解し難い表現である。 (説明がないので分からない。)	3-(3)	
9	207	20	水そうの深さが24cmになる	児童にとって理解し難い表現である。 (水槽の深さは一定なので分からない。)	3-(3)	
10	245	1	分数では表せない数字	児童にとって理解し難いタイトルである。 (数字をどのような意味で用いているのか分からない。)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 104-153		学校 小学校		教科 算数	種目 算数	学年 6
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検定基準	
	ページ	行				
11	267	図	12行下の数直線の単位「日」 他に、286ページ左段16行下のドット プロットの横軸の単位「日」	誤りである。	3-(1)	
12	271	8 － 9	△1② 他に、16-17行△2②	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (3つの数の比について分からず、解答できないとい う支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)	
13	272	10 － 11	②	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (拡大図が10行の文字に重なるため、右の図に拡大 図をかけないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)	
14	285	29 左	⑪ 他に、286ページ右段6行	表記が不統一である。 (章番号の色)	3-(4)	
15	285	30 左	□1 ②, ③の解答	児童にとって理解し難い表現である。 (比を簡単にすることを学んでいない。)	3-(3)	
16	286	図	左段9行下の△1①の解答の図 (2箇所)	誤りである。 (「8/15」, 「2/5」の位置)	3-(1)	
17	286	図	左段16行下の△1②の解答の図におけ る色のついた「○」	児童にとって理解し難い点である。 (なぜ色がついているのか、説明がないので分から ない。)	3-(3)	
18	286	1 － 4 右	⑩ 場合の数 270ページ △1②の解答	不正確である。 (270ページ△1②の設問に答えていない。)	3-(1)	
19	286	27 右	スポンジケーキをつくろう 274ページ ①●5の解答における「 $(6 \times 6 \times 3.14 \times 6) / (9 \times 9 \times 3.14 \times 6) = 4/9$ 」	児童にとって理解し難い式である。 (分母と分子に小数が含まれている。)	3-(3)	
20	287	表	右段4行の③●1の表の「ゆづきさん17 個」の「 $\div 4$ 」の欄における「4」	誤りである。	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 104-153		学校 小学校		教科 算数	種目 算数	学年 6
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準	
	ページ	行				
21	288	囲み	左下の「②約分、通分 5年」の囲みにおける「通分した分数の分母は、もとの分母のそれぞれの数の公倍数になっています。」	不正確である。 (そのようなにならない場合がある。)	3-(1)	
22	291	囲み	右下の「○22いろいろなグラフ 3年、4年、5年」の囲みの帯グラフ及び円グラフにおける項目名「本の貸し借り」	児童にとって理解し難い項目名である。 (図書室の利用者として本を貸すことがどのようなことか分からない。)	3-(3)	
23	293	図	6行下の図における「①」，「②」	誤りである。	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。